

くめじま

議会だより

2018.9.3

No.65



第1回久米島町議会報告会・意見交換会
(久米島のまちづくり)

6月定例会

特集 議会報告会	2~4P
6月定例会で決まったこと	5P
第2回・4回臨時会で決まったこと	5P
編集後記	5P
町政を問う 一般質問	6~15P
議会のうごき	16P
議会ボランティア活動	16P
傍聴へ行こう	16P

久米島の人口・世帯数(2018年6月末現在)

男:4,201人 世帯数:3,995世帯
 女:3,695人
 計:7,896人

● 意見交換会を開催



議会報告会・意見交換会を6月21日(木)、具志川農村環境改善センターで開催しました。
今回の議会報告会では、議会の活動状況を報告し、広く町民と意見を交わしました。合計122人の町民の方が参加しました。

開催の趣旨

議会の監視機能や議会活動の状況を町民に直接報告・説明し、情報の提供や議会活動に対する批判や意見、町政に対する



司会・受付及び会場準備も議員自ら行いました。

る提言などを直接聴取することで議会の機能を高める趣旨で開催しています。

1部 議会報告会の内容

平成30年度予算にかかる6点の※留意事項を説明しました。

- ① 久米島町健康増進事業
- ② ラジオ広報FM放送事業
- ③ 具志川庁舎周辺土地利用計画事務委託
- ④ 比嘉2号線整備事業
- ⑤ 複合型防災・生涯学習機能施設整備事業
- ⑥ 航空運賃コスト負担軽減事業

※留意事項とは

議決された議案・予算案に関して事業を執行するうえでの意見や要望を述べるために提出されるもの。

2部 意見交換会

意見交換では主に16点の意見・要望がありました。

質問

どうしたら人口を増やすことができるか。働く場所がないから島外へ行く。若者が定着できるようにできないか。

回答

人口減少問題については、執行部だけでなく民間も含めて、働ける場所、子育てしやすい環境づくり向



改革
議会
特集

はじめての開催 第1回 議会報告会

け、町あげて取り組む必要がある。

質問

島おこしの一貫で「結びの会」の一員として活動をしているが、なかなか広がらない。議員の皆さんにも協力してほしい。

回答

第二次総合計画の中で、人口減少の問題について、町も議会も取り組んでいます。民間を中心に「ドリー部チャレンジ」を立ち上げて各部門を進めており、議会も一緒に取り組んでいます。

質問

航空運賃コスト負担軽減事業について、大人運賃が10,500円となっていて、往復10,200円の間違いではないか。

回答

この事業は、久米島に住んでいる方々の離島割引の金額ではありません。

質問

航空運賃の割引について2,000万円の子算がかけられていると思うが、今年4月から特割運賃がありますが、それを少しでも安くすればもっと違う使い方ができると思う。

回答

航空運賃の割引について、この設定されている割引運賃より安くなる運賃があると思うが、予約できる期間が制限されることもあって、状況によってどちらか安くなる割引運賃の制度を利用する方法もある。

質問

航空運賃コスト負担軽減事業で、「一定の効果」どういった効果があったのか。

回答

平成27年から平成29年度までの3年間で航空運賃の低減の実証実験を行い利用者が多くなってきたという実績が出ている。「一定の効果」があったということ、今年度も県の事業を継続することになりました。

質問

久米島健康プロジェクト事業に参加者が少ないので、議員の皆さんからも呼びかけをお願いします。

回答

町民に周知をする啓蒙活動に取り組んでいきます。

質問

沖縄県が農薬散布のドローンを使う予定があるが、水生生物の環境への影響や健康に関する影響も懸念されます。議員の皆さんもこの事に関心をもってほしい。

回答

資料を議会の方に提示していただければ、議会の方でも勉強します。

質問

町民が一つにまとまって大きなスロ―ガン掲げて取り組む必要がある。

回答

町行政を中心として議会、そして民間も一緒に三位一体となって取り組みを考えたい。

質問

観光客が多くなつて、真謝の蔵元跡の近くにトイレを設置してほしい。

回答

以前に字真謝の地域から撤去の要請があった経緯もあり、議会的一般質問でも取り上げましたが「再度の設置については考えていない。」と答弁がありました。引き続き議会でも要請します。



1部 議会報告会の様子

質問 若者が少なくなっていますが、島に元気が無いことが若者の少ないということが要因だと思います。この事について議会どう取り組んでいくのか。

回答 青年部と意見交換し、青年部の意見や考え伺って、執行部へ提案していく。

質問 横領事件ですが、町民の税金を使って返していますが、それを取り戻すための過程をどのように判断して議決したのか。

回答 町が債権を引き取りました。その条件として将来に向けてちゃんと回収するとい

う条件がありました。議会として注視していきたいと思います。平成30年6月13日に被疑者は逮捕、町は6月11日に横領額について民事裁判所に提訴し、取り調べの中から余罪などが出て、それが確定した後に返済方法について、進められていくと思います。議会としては今のところ、ここまでしか答えることができませんので、今後このことについては執行部に聞いていきたい。

質問 議会の皆さん町民に対して何か手伝ってほしいことや協力してほしい事があれば聞かせてほしい。

回答 議会は町民に代表であるという意識を持っていきますので、町民の皆さんが議会を傍聴して、色々要望や意見を出していただければ一緒に考えて行きたい。

議会報告会で頂いた町民のみなさまの多くの意見の中から次の4項目を重要な要望として、町長へ早急な対応を求めて提出する

要望① フェリー運賃の車両運賃往復割引及び流通コストの改善を。

要望② 働く場所が無いから若者が出て行くので、求人情報の一本化。また、島外から若い者たちが子供を預ける場所が無く困っているのので、学童保育の充実を。

要望③ 里帰りした子供達が町営塾を利用できるようにしてほしい。

要望④ 町営バス運賃が沖縄本島に比べて割高、バス停の間隔が遠い、運行時間等の改善を。

以上の4項目の要望の回答及び議会報告会アンケート結果は、次回の議会日より(66号)12月発行にてお知らせします。



2部 意見交換会の様子

6月定例会で 決まったこと

平成30年6月(第3回)定例会は、6月14日から18日の5日間の日程で行われました。定例会では、議案15件を審議し、すべて原案どおり可決・同意・承認しました。一般質問では10人が登壇し活発な審議が行われました。

平成30年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第2号)
69億4141万円(1億2835万円増)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
9億5266万円(756万円増)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
7332万円(32万円増)

条例の改正、制定

条例の改正 ※全員賛成

- 多目的公園施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
久米島町多目的公園に、休憩所及びゴルフコースが新たに設置されたことに伴い、施設の適正な管理を行うために、条例の一部を改正する必要がある。

契約 ※全員賛成

- 儀間漁港第2防波堤整備工事(H30年度)請負契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億1988万円
契約の相手 有限会社 山里土建

報告 ※全員賛成

- 平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書

専決処分 ※全員賛成

- 税条例等の一部を改正する条例
地方税法の一部改正による条例の一部改正
- 請負契約の一部変更
「平成29年度久米島縦断線道路改良工事(1工区・2工区)請負契約の一部変更について」

委員の選任・任命 ※全員賛成

- 固定資産評価審査委員の選任
平田 明氏

●固定資産評価員の選任

平良朝英氏

●監査委員の選任

高嶺 悟氏

●教育長の任命

吉野 剛氏

●教育委員会委員の任命

宇江城 洋一氏

●選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

●選挙管理委員会委員

山城京子氏、仲地 泰氏、
山里晴美氏、山城 保雄氏

●選挙管理委員会補充員

日高 清有氏、新城 教明氏、
比嘉 あや子氏、金城 睦原氏

第2回臨時会で 決まったこと

会期：平成30年5月23日

副町長の選任

※全員賛成

- 桃原 秀雄氏

第4回臨時会で 決まったこと

会期：平成30年7月12日

30年度補正予算

※全員賛成

- 一般会計補正予算(第3号)
69億5341万円(1200万円増)

編集後記

6月21日貝志川農村環境改善センターにおいて開催した第1回議会報告会・意見交換会は多くの町民の参加を得て有意義な会を開催することができました。限られた時間の中でしたが、常日頃町民が抱えている重要な問題等が提起されました。今回の意見や提案についてはその実現に向けて精力的に取り組んでいきたいと思えます。議会の大きな役割は住民福祉の向上ですので、継続して開催し多くの町民の声を町政に反映させていきたいと思えます。今後とも町民のご理解とご協力をお願い致します。
(幸地 猛議員)

広報委員

吉 饒 翁 崎 仲
永 平 名 長 村 村
智 正 昌
浩 弘 学 明 慧

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号(平成)を省略しております。



吉永 浩 議員

問 2期目の政治姿勢は

答 町民の声を聴く

吉永 外国人観光客の受入体制の取組みは。

商工観光課長 第2次観光振興計画で、通訳の人材やガイド育成・確保、外国人向けパンフレットや観光標識等について取組みたい。

吉永 島内で出産可能な環境の実現の道の筋は。

町長 制度や公立久米島病院の現状踏まえ、可能性を深める。

吉永 福祉充実の前提である専門職の育成・確保策は。

福祉課長 島内で福祉資格に関する研修等が行える環境整備を目指す。

吉永 海洋深層水の取水施設増強の予算確保の道筋は。

町長 ハードルは高い。トータル総合事業費80億余り必要。誰が担うか国・県と調整していく。

吉永 住民と協働のまちづくりには課題や現状、構想や計画の共有が必要。説明と協働に向けた話し合いのための地域回りを実施する考えは。

町長 いろんな場面に足を運びたい。時間のある限り、校区単位で地域説明会等の実施を検討する。

問 コンビニ交付サービスの導入は

答 コスト面で見合わせ

吉永 証明書のコンビニ交付導入は。

町民課長 マイナンバーカードの普及が優先。

吉永 導入のメリットをどう考えるか。

町民課長 いつでも、住民票等の証明等が交付できること。

吉永 導入経費やランニングコストへの財政措置があるのが31年度までだが。

町長 メリットと経費負担双方分析し判断する。

問 実施計画の進捗は

答 7月から8月に

公表

吉永 総合計画における実施計画の進捗は。

企画財政課長 約300の事務

事業が上がっている。内容・成果目標が基本構想に基づいているか、精査中。7月から8月には議会や町民に公表したい。

吉永 町長は住民の未来に寄せた思いが詰まった総合計画の実現が、暮らしやすい島の実現に繋がると述べた。どのように進めるか。

町長 すべてできるわけではないが、総合計画に基づき、国・県へ予算要求しながら調整し進めた。

他にもこんな質問

問 基金の見直しと積極的な活用について

問 心の健康を守る取組みについて



盛本 實 議員

問 観光入域客12万人達成は

答 課題を分析し改善策の強化

盛本 28年度までの観光入域客数は、計画通りで推移してきたが、29年度の実績及び30年度の見直しは。

町長 29年度の観光入域客は対前年度比98・4%で、観光振興基本計画における数値目標を3258人下回っている。30年度においても、前年度を下回る厳しいスタートであるが、東京直行便の運航ダイヤの変更、ジェット便の座席増等好材料もあり、観光協会等関係機関とも連携を図り、目標値の12万人達成に向けて取り組む。

問 前村基金の有効活用を

答 リーダー的人材の育成を図る

盛本 前村氏は久米島町から総理大臣級の人物を出したいという思いで、2億円を人材育成の目的で本町に寄贈した。その資金を基に人材育成基金を創設したが、前村氏の意志に沿うような運用を行っているのか。

町長 前村氏の夢が実現できるように、行政としても人材育成に取り組む環境を整備していく。

教育長 前村氏は久米島町から政治、経済、教育の専門家を育てたい。そしてゆくゆくは、総理大臣を出したいとい

う思いがある。そのような事を踏まえ人材育成基金条例・規則・規定に従い基金を交付している。

問 移住・定住の推進は

答 移住希望登録者へアプローチ

盛本 地域おこし協力隊制度の活用により「島ぐらしコンシエルジュ」を発足させ移住定住を推進しているところであるが、これまでの成果と今後の取組は。

町長 28年度から現時点までに計43名の移住が実現している。今後も移住者の定着、さらなる移住促進に向け、移住希望登録者の208名へ積極的なアプローチを行う。



玉城 安雄 議員

問 観光振興計画は

答 「久米島型観光」の構築

玉城 施政方針で第2次観光振興計画を策定するとしている。1次観光振興計画の成果や反省も踏まえ基本的な考えを伺う。

町長 1次観光振興計画では一定の効果もあったが、効果や課題をしっかりと分析し、久米島型観光の構築を目指す。

玉城 第2次観光振興計画の公表はいつごろか。

商工観光課長 30年度に策定し31年度の公表となる。

玉城 旧蔵元前の公衆トイレが撤去され観光客等不便をきたしている。撤去の経緯と再設置する考えはないか。

町長 利用者が少ないなど5件の理由で、地域からの要請で撤去した経緯があり、再建設する考えはない。

玉城 当時とは違い、近年は

菩薩堂の改修等で観光客も多く、トイレの必要性が高まっていると聞く。観光地の付帯施設として必要と思うが。

商工観光課長 仲原家の外にも公衆トイレがあり既存の施設で対応したい。

玉城 美崎地区は、海洋深層水施設を中心とした重要な位置にあることから、検討してもらいたい。

問 未整備道路計画は

答 危険性があるところは、補修を急ぐ

玉城 町道山城9号線は(球美の里アクセス道路)は道路が狭隘なうえ、両側側溝のふたがなく脱輪事故が多発している。整備の計画はないか。

町長 整備については33年か

ら計画している送水管の更新に合わせて整備計画を検討する。

玉城 緊急措置として側溝にふたをかぶせる考えはないか。

建設課長 当該道路勾配が急なうえ、またU字溝の構造上ふたをかぶせるのは厳しい。今後の整備において検討する課題である。

玉城 真我里14号線は町道でありながら未整備、未舗装道路である。整備の計画は。

町長 このような道路は各所に存在することから、道路整備計画を作成し総合的に勘案し検討していく。

玉城 各区長からも要請があると思う。整備計画を作成し迅速に取り組んでもらいたい。



平良 弘光 議員

問 事業の決定は

答 基本的な流れを考慮する

平良 補助事業等の実施計画を進めて行く中で、事業の計画、審査、決定に至るまで担当課、財政担当、町三役で綿密な調整をして事業の実施が決定されているか。

町長 基本的には、各担当課から企画財政へ事業採択に関する打診があり、総合計画との関連性や経済効果等を考慮して、財政担当課から町幹部へ最終確認して実施の可否について判断する。

問 久米島紬の販路拡大を

答 組合と意見交換して支援する

平良 現在は問屋、展示会等で販売促進をしているが、全国的に着物の需要が少なくなってきた中で、幅広い販売戦略等（民間企業との連携等）について、今後考えていく必要があるのではないかと。

町長 紬についての主体は組

合、保持団体、織り子が日ごろから尽力をしているが、町としても意見交換、情報交換等をしてその中から支援できるところはしっかりと取り組んでいきたいと思う。



久米島紬販売促進をしている（ユイマール館）

問 社協臨時職員の待遇は

答 行政が答えることはできない

平良 今回、これまで支給されていた手当がカットされた

ことは、臨時職員にとっては長年働いてきた勤務条件の変更は納得できないことで、雇用側の一方的な採用条件の変更と思われるもおかしくないのではないかと。

町長 久米島町社会福祉協議会は補助対象ではあるが、質問されている要因については、行政が答えることではないと考える。

問 教員住宅の活用を

答 可能性はある

平良 現在本町での教員宿舎の空き部屋活用は。

町長 本町では現在総数で69戸ある中で6戸の空き部屋がある。内訳は宇江城2、比屋定1、清水2、球美中1となっている。必要な手続きを踏めば可能だと考える。



仲村 昌慧 議員

問 自主財源の確保は

答 ふるさと納税で確保

仲村 自主財源の多い少ないは、行政活動の自主性と安定性を確保しうるかどうかの尺度となることから、できる限り自主財源の確保に努めるべきものとされている。本町の自主財源比率は27年度は19・3%、28年度は18・4%で0・9ポイントの減になっている。減少した理由は何か。自主財源確保の取り組みを伺う。

町長 27年度においては宮崎駿氏からの寄付金3億円があったことにより自主財源比率が一過性で伸びており、前年度の26年度が16・4%で、下がった28年度と比較すると2・0%の伸びとなっている。今後はふるさと納税の寄附金等のPRを積極的におこない自主財源の確保に努める。

問 冷凍冷蔵コンテナの整備を

答 冷凍は調整済み

冷蔵は太陽の花が導入

仲村 漁協組合から議会に対して「冷凍冷蔵コンテナの整備を推進してほしい」との要望があった。過去に花卉農家からも要望があったが、早期に冷凍冷蔵コンテナを整備することができないか。

町長 冷凍コンテナの整備については、久米島漁港と久米島商船と協議した結果、久米島漁港の設備等が整えば台車付き冷凍コンテナを載せることが調整済みである。冷蔵コンテナについては、太陽の花で整備してほしいという要望を出して協議した結果、太陽の花が冷蔵コンテナを導入することになった。



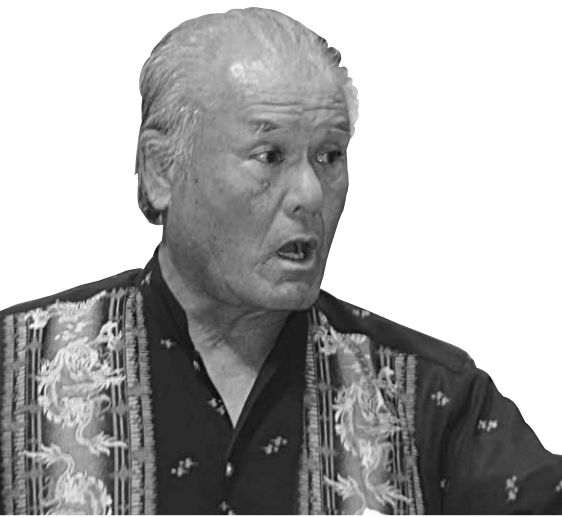
冷凍冷蔵コンテナ整備を早急に

問 県民投票について町長の見解は

答 県内世論を見極め判断

仲村 『辺野古』県民投票の会」が5月23日より署名活動を開催した。県民投票には、少なくとも有権者の50分に1の署名による条例制定は必要である。また、市町村の協力がある。また、市町村の協力が不可欠である。県民投票を巡っては賛否両論あるが、町長の見解を伺う。

町長 県民投票の賛否については、現時点において判断材料が少ないこともあり、まだ決めていない。署名集めを含め県内世論の動向を見極めたうえで判断したい。



喜久里 猛 議員

問 町政2期目で 職員の意識改革は

答 指導体制の強化や
研修実施

喜久里 公僕たる職員のプロ意識に問題がある。また、不正事件の対策は。

町長 職員が町民の奉仕者として能力を高め、責任を自覚して職務を遂行できるように職場指導体制の強化や職員研修を実施している。また、横領事件による再発防止策はコンプライアンス研修の実施による職員の意識改革、公金を扱う部署のチェック体制強化を行う。

喜久里 子どもたちの安全に帰宅する為に、街灯は設置されたと思うが街灯が車道に向いているのか。

総務課長 街灯を設置した基本的な考え方としましては、既設の電力柱とN T T柱に強化する考え方で、横断して電

気を取らないといけない事態が生じてくると電力の許可がもらえない。

喜久里 ネコの問題が報告されている。町民から相談を聞いているが、その後アクションを起こしたか。

町長 ネコの問題は、沖縄県での取り組みになっていて、本町もネコの苦情が多い状況で解決する糸口が掴めていない。

問 白瀬川公園の東側 への渡り道路を

答 協議して推進

喜久里 西側のホタル展望台から渡り道路を設置したら利用者が増えると思う。

町長 費用対効果が求められ

る補助事業の導入は、難しいが採択要件が合う、メニューがないか関係機関と協議したい。

喜久里 橋が無理なら、踏み台の様な物でもいいので、実現してほしい。

環境保全課長 できる事業メニューを探してやる。関係課と協議し推進する。



喜久村 等 議員

問 公民館建設は

答 補助事業で対応



耐久年数が過ぎた公民館が多数（宇根公民館）

喜久村 本町内で耐久年数が過ぎた公民館が多数あるが本町として、今後の公民館建設について伺う。

町長 今後の公民館建設については、自治会が建設費用の一割負担が可能であれば補助事業で対応する。単独での建替えが困難な場合は近隣の自治会が共同で利用する「地区公民館」としての整備について検討する。

問 不登校の児童、生徒は

答 一部登校復帰

喜久村 30日以上不登校の児童、生徒の実態はどうなっているか。

教育長 小学校の該当者はいないが、中学校は3名の生徒が30日以上欠席している。

喜久村 長期不登校になってくる主な理由、原因は何か。

教育長 3名に共通するのが学校の集団生活や家族間でコミュニケーションが上手に取れないと考えられる。

喜久村 それらの児童、生徒に対する対応は。

教育長 学校、福祉課、教育委員会の関係者等で組織する

会議を開催し、状況の共有と対応策について話し合いを行っている。

喜久村 改善され登校に至った例は。

町長 保健室登校から次第に登校できるようになり学校行事への参加をきっかけに、今は完全に登校復帰をしている。

喜久村 長期不登校の児童生徒については、担任や学年主任、養護教諭などの対応に加えて、「登校支援センター」を設置し、常駐する教員や支援員、カウンセラーで生活支援や学習補充を行いながら、在籍校への登校を促す施策を要望する。



赤嶺 秀徳 議員

問 新設パークゴルフ場は

答 多少の高低差がついた



新設パークゴルフ場

赤嶺 新設中のパークゴルフ場は、お年寄りや子供等も楽しめる様にとフラットのはずが高低差がついているのは何故。
町長 魅力のあるコース作りのアドバイスがあつて多少の高低差になつた。

問 防災無線の予算確保は

答 31年度に新規採択を要望

赤嶺 防災無線の予算の確保と事業は。

町長 概算要求書は提出済みで31年度に新規採択を要望している。

問 嘉儀山地区の下水道敷設は

答 2〜3年遅れる

赤嶺 嘉儀山地区の下水道事業計画は。

町長 嘉儀山地区への下水道は計画通り進めているが、予算の減額により2〜3年遅れる。

問 民事事件の状況は

答 訴状で提訴する

赤嶺 民事事件の進捗状況はどうなっているのか。

町長 訴状の最終確認を行ない、近日中に訴状を提訴する。

赤嶺 職員の指導と町民への奉仕者としての企業倫理は。

町長 接遇、倫理研修を行ない資質向上に努める。



棚原 哲也 議員

問 防犯灯設置及び整備を

答 併用開始



水産養殖に利活用予定の泊ヒィッシャリーナ

棚原 イーフ県道の防犯灯の設置及び取り替え時期については。

町長 事業完了は6月30日を予定しており検査を経て併用開始する予定。

棚原 道路の整備完了していない部分も含めてなされるということでしょうか。

建設課長 18基設置で完了となる。

問 真泊ターミナルの利活用は

答 新規借用依頼あり

棚原 真泊ターミナルの利活用計画について伺いたい。

町長 現在漁協及び工事事業者が利用している。今後植物品工場事業者が借用依頼があり調整を進めている。

棚原 海水を利用しての養殖施設が入ることによって建物の寿命に影響が出るのか、利用方法も十分吟味した上での調整か。

プロジェクト推進課長 錆の問題と施設の耐久性にも影響が起きると思うので十分調整しながら進めていきたい。

棚原 昨年6月の定例会でホール全体漁協に貸し出す方向で決定していると言及があったが、どこを優先に使用させるのか説明をお願いします。

プロジェクト推進課長 漁協での活用を進めてきた。経済効果、雇用効果も出ると吟味した結果、生産設備設置を漁協からも了承を得ている。

棚原 漁協の置き場が足りない場合は確保もやってあげないといけないと思う。海水活用は十分注意してほしい。



スロープ、手摺、展望スペース設置検討している畳石

問 畳石の安全対策は

答 設置の検討をする

棚原 24年度から調整設置に向け検討とあるが6年経過している。

商工観光課長 具体的な期日はいえませんが、一括交付金でも活用できると思うのでスピード感を持って実施できるように努力する。



安村 達明 議員

問 町道整備は

答 前向きに検討

安村 字仲地の生活道路は、道幅が狭く生活に大変支障がでて苦慮している。町の見解は。

町長 整備に向けて、区間の道路認定と補助事業の確認等を含めて対応する。

問 県道整備は

答 県も確認

安村 大雨の度に家の軒先まで汚濁や塵が溜まり、衛生的にも悪く大変な迷惑だが。

町長 南部市町村会も共通問題として、国や県に早急整備を要請しており、県も現場を視察しており、前向きに検討する。

問 改修後の改善センターは

答 施設利用の促進を図る

安村 具志川改善センターは「久米島で結婚式を」との名目で改修を行ったが、現在の結婚式の状況は。

町長 22年から現在まで9件の結婚式が行われ、現在も申し込みがあれば実施できる状況にある。引き続き助成金制度の周知を図る。

安村 助成金を50名で50万、100名で100万に期限付き(1年間)でおこなってみては。

町長 新しい発想の意見であり、内部で調整してみる。



利用促進を図る具志川改善センター

